
当院におけるESD治療成績（2016年～17年）



- 当院での胃ESD治療成績

- 当院での大腸ESD治療成績

■ 当院での胃ESD治療成績

■ 当院での大腸ESD治療成績

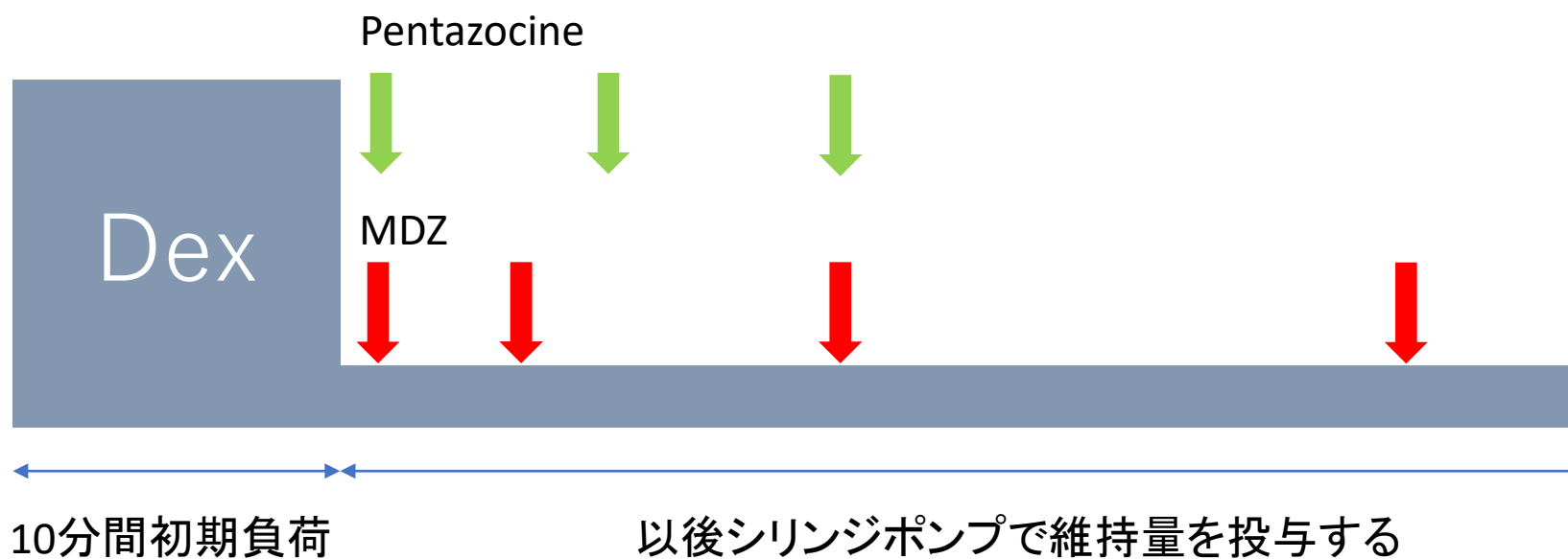
ESDの入院期間は

入院期間は8日間のクリニカルパスを作成し運用しています。

月曜日	入院
火曜日	午後からESD開始
水曜日	確認内視鏡（必要時は止血術）
木曜日	朝から食事再開
金曜日	↓
土曜日	↓
日曜日	↓
月曜日	退院。

ESD中の鎮静方法

- Dexmedetomidine（商品名：プレセデックス）
- Midazolam（商品名：ドルミカム）
- Pentazocine（商品名：ソセゴン）



患者背景 2016年5月10日~2018年3月31日

	症例数/病変数	85/93
性別	男/女	60/25
年齢	中央値 (範囲)	71.7 (49-90)
部位	U/M/L/残胃	13/53/26/1
腫瘍径 (mm)	平均 (範囲)	17.9 (4-59)
潰瘍 (UL)	無/有	86/7
組織型	分化型癌/未分化型癌	85/8
適応	絶対適応/適応拡大	75/18

治療平均時間 86.5分 (24~354分)

一括切除率

	絶対適応 (n=75)	適応拡大 (n=18)	全病変 (n=93)
一括 切除率	75 (100%)	18 (100%)	93 (100%)

ESD切除成績

	絶対適応 (n=66)	適応拡大 (n=27)	全病変 (n=93)
治癒切除	64 (96.9%)	19 (70.3%)	83 (89.2%)
非治癒切除	2 (3.1%)	8 (29.7%)	*10 (10.8%)

*1例はpT1b2 (SM800 μ m) のみが非治癒切除因子で経過観察
*1例はpT1b2 (SM700 μ m) のみが非治癒切除因子で経過観察
*他の8例は追加手術を選択し、1例にリンパ節転移を認めた。

ESD関連偶発症

85

穿孔例

0

緊急手術

0

誤嚥性肺炎

0

術後出血

6/85 (7.05%)

*1例は術後10日目

*1例はヘパリン置換からDOACに変更後

*1例は潰瘍癒痕後のESD

その他

0

鎮静に関連した偶発症頻度

85

呼吸抑制による中止

0

アトロピン使用

83/85 (97.6%)

カテコラミン使用 (エフェドリン使用)

5/85 (5.8%)

カテコラミン使用例で抗コリン薬使用禁忌例

3/5

鎮静不十分例

9/85 (10.5%)

追加薬剤 (ロヒプノール使用例)

7/9

追加薬剤 (セレネース使用例)

7/9

誤嚥性肺炎

0

内 容

- 当院での胃ESD治療成績
- 当院での大腸ESD治療成績

患者背景 2016年5月10日~2018年3月31日

	症例数/病変数	27
性別	男/女	17/10.
年齢	中央値 (範囲)	66 (45-85)
部位	C/A/T/D/S/R	4/4/3/3/5/8
腫瘍径 (mm)	平均 (範囲)	29.3 (8-70)
一括切除率		96.2% 26/27
	治療平均時間	71.9分 (7~199分)

ESD関連偶発症

27

穿孔例

0

緊急手術

0

誤嚥性肺炎

0

術後出血

0

その他

0



Handwritten notes on a piece of paper, including patient information and medical instructions.

OLYMPUS





Niigata Saiseikai Sanjo Hospital *department of gastroenterology*